出エジプト記の結晶の学び　第 9 週 飲食を変更して、神の民のための唯一の食物としての天的なキリストを食べる

鳥瞰	キリストは天的なマナの実際であり、神によって遣わされて、神の選ばれた民の日ごとの命の供給となります。キリストは天的な、神の、命の、生ける、まことのパンです。食べることによって主を享受し、彼のゆえに生きます。出エジプト記第 16 章の深い真理は、神がわたしたちの飲食を変えたことです。マナの 16 項目ある特徴は神の選びの民を再構成することを見る必要があります。キリストをマナとし食べ、消化し、吸収することによってキリストは隠されたマナとなられます。この隠されたマナがわたしたちを勝利者とします。	
	真理要点	経験適用
1日	1. ヨハネによる福音書第 6 章は、主イエスがわたしたちのパンであると言っていますが、その 5 つの特徴とは何でしょうか？ 2. ヨハネによる福音書第 6 章からすべての人が飢えていることを説明してください。	1.　天から下って来たパンとして、彼は天的なパンです。神のパンとして、彼は神に属する方であり、神と共におられた方です。命のパンとして、その性質は命であり、永遠の命　（ゾーエ）を持つパンです。生けるパンとして、その状態は生き生きとしています。まことのパンとして、キリストは真理のパン、実際のパンです。 2. ヨハネによる福音書第 6 章での極めて重要な点は、わたしたちは病んでおらず、盲目で足が不自由で体が麻ひしていないとしても、依然として飢えているということです。ガリラヤの海で代表されるこの世的で、サタン的な海の周りの人たちはみな、飢えています。すべての人が飢えているのは、彼らがみなキリストに欠けているからです。
2日	1. 霊と言葉の関係について説明してください。 2. わたしたちはキリスト「によって」ではなく、キリスト「のゆえに」生きていると言えるのは何故ですか？	1. ヨハネによる福音書第 6 章 63 節と 68 節の「言葉」のギリシャ語は「レーマ（rhema）」であり、即時的な現在の語られている言葉を意味します。その霊は生きていて実際ですが、非常に奥義的であり、わかりにくく、人は把握しにくいです。しかし言葉は具体的です。第一に、主は命を与えるために、その霊に成ることを示されました。それから彼は、ご自身の語る言葉は霊であり、命であると言われました。これは、彼の語った言葉が、命の霊の具体化であることを見せています。 2. わたしたちは、キリストによって生き、キリストをわたしたちの道具とするのではありません。そうではなく、わたしたちはキリスト「のゆえに」生き、キリストをわたしたちの生きる要因とするのです。わたしたちが食べる食物は道具ではなく、供給する要因です。食物はわたしたちを供給して、わたしたちがその供給のゆえに生きることができるようにします。杖を道具として用いて歩くとき、杖を食べる必要はありません。しかし食物のゆえに生きるために、わたしたちは食物を食べなければなりません。食べなければ、食物はわたしたちの生きる要因となることはできません。
3日	1. わたしたちが毎朝すべき一番目の事とは何ですか？またそれにはどのような注意をすべきですか？ 2. イスラエルの民はどのようにして日々マナを食べることによって天的な民となりましたか？	1. わたしたちは新しい開始とマナの供給のために主を追い求めるとき、わたしたちの霊に戻る必要があります。しかしながら、わたしたちは容易に霊ではなく思いを活用します。これがわたしたちの傾向ですから、その日の諸事に占有される前に御言の中で主と接触することが良い習慣です。 2. マナを食べることは、神の民が天的な民、すなわちその性質が天的な要素で造り変えられ始めた民となる点に達したことを表徴します。栄養学者は、わたしたちは自分が食べたものとなるのであると告げます。日ごとに四十年の期間、イスラエルの子たちはマナを食べました。その結果、彼らはマナで構成されるようになりました。彼らはマナになったとさえ言ってよいでしょう。そして天的な民となりました。
4日	1. 神はどのようにして天的な食物を用いて養い、わたしたちの構成を変えられますか？ 2. 神が彼の民の肉を対処する道は、彼らの飲食を変えることであるとはどういうことでしょうか？	1. マナは新陳代謝的な変化を生み出し、その中でエジプトの要素が天的な要素によって置き換えられます。名において、イスラエルの子たちはエジプト人ではありませんでした。しかし性質と構成において、彼らはエジプト人と少しも異なりませんでした。神は飲食をエジプトの飲食から天的な飲食に変えることによって、民の構成を変えようとしました。このようにして、彼らの性質と存在は変えられ、特別な民へと構成されまました。 2. わたしたちは堕落した存在として、わたしたちの堕落した性質の総合計において、肉にほかなりません。神が肉を対処する道は、肉を拒絶し、肉を養わないことです。こういうわけで、神は彼の民の飲食を変え、彼らの肉が好まない食物を彼らに送るのです。彼らの飲食を変え、彼らを天からのマナで養うことによって、彼は彼らに異なる構成を持たせます。
5日	1. キリストを真のマナとして食べることは、消極的なものを取り除き、積極的な養いとなることを説明して下さい。 2. 「マナ」の意味と、その霊的な意義を説明して下さい。	1. わたしたちは真のマナとしてのキリストにあずかるなら、短気を起こすのが難しいことを見いだします。この天的な食物はわたしたちのどん欲が制限されるようにします。それはまたわたしたちの利己的な野心を対処します。一方で、天的なマナはわたしたちを養い、いやします。もう一方で、それはわたしたちの中の消極的なものを取り除きます。食べることはそのように重要な事柄ですから、人の飲食を規制することは聖書におけるもう一つの基本的な観念です。 2. ヘブル語で「マナ」という言葉は、「それは何だろう？」、あるいは「これは何だろう？」を意味します。朝になって、イスラエルの子たちが最初にこの小さな、丸い、白いものが地面にあるのを見た時、彼らはそれが何であるかわかりませんでした。この世の人々にとって、キリストはマナです。すなわち、彼は「これは何だろう？」です。マナ、すなわち、わたしたちの天的な食物としての天のキリストは奥義です。
6日	1. 公のマナと、隠されたマナの違いは何ですか？ 2. わたしたちはどのようにしてキリストを公のマナとして食べ、勝利者となり、永遠にわたる記念となりますか？	1. 公の、地上に毎朝あったマナは、神の民が公に享受するためでした。しかしながら、つぼの中に置かれたオメルのマナは、隠されていて、公の会衆のためではありませんでした。エホバの御前でつぼの中に保存されたマナの量は、一オメルであり、民が集めて食べたのと同じ量でした。これは霊的な経験において、わたしたちが食べるキリストの量が、わたしたちが保存することができる量であることを示します。わたしたちが公のマナとして食べるキリストは、わたしたちの内なる存在の中へと消化され吸収されることによって、自然に隠されたマナとなります。 2. あなたはキリストをマナとして享受することによって勝利者になることができます。公のマナを食べなさい。そうすれば、キリストは隠されたマナとなられます。この隠されたマナが、あなたを勝利者へと構成します。わたしたちがマナとしてのキリストを食べるなら、わたしたちが食べるマナはわたしたちの内側の神聖な性質の中に蓄えられるでしょう。この隠されたマナは、神の住まいを建造するための、神の民に対する供給としてのキリストの記念です。そのような記念は永遠にわたる記念となるでしょう。
まとめ	神の民は 400 年以上エジプトに住んでおり、ほとんどエジプトのあらゆるものによって構成されていました。神の贖いと救いが彼らにありましたが、過越の祭りを経過し、エジプトからの脱出、紅海を渡り、荒野へと入りました。彼らは外側では神の子たちでしたが、彼らの内側の構成はまだエジプトに属していました。そういうわけで、神は 40 年の時間をもってマナを唯一の食物としてただ降らせ、彼らの構成を変え、神の住まいを建造する資格があるものとならせました。このマナはキリストの予表で、5 つの性質と 16 の特徴的な豊富があり、食べることによってキリストを享受、消化し、彼らを勝利者とならせました。	